

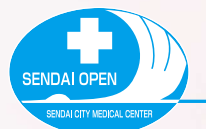


病院機能評価認定病院 3rdG:Ver.2.0

日本緩和医療学会連携施設

宮城県がん診療連携推進病院

緩和ケア病棟 ご案内



公益財団法人 仙台市医療センター

仙台オープン病院



●バスをご利用の方

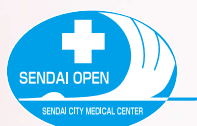
仙台駅前(仙台ロフト前27番)から仙台オープン病院前(鶴ヶ谷7丁目経由)にて約30分
 市営地下鉄「旭ヶ丘駅」から鶴ヶ谷七丁目行き(6番のりばから約15分)仙台オープン病院前下車

●JRをご利用の方

仙台駅よりタクシーで約30分、東仙台駅よりタクシーで約15分

●お車をご利用の方

- ①国道45号線「坂下交差点」から鶴ヶ谷方面に向かって、約3.6km
- ②「旭ヶ丘駅」から鶴ヶ谷方面に向かって、約3km
- ③国道4号バイパス「鶴ヶ谷交差点」を上り方向は右折、下り方向は左折し、約1km
- ④病院南側ご来客用駐車場をご利用ください。



公益財団法人 仙台市医療センター
仙台オープン病院

宮城県仙台市宮城野区鶴ヶ谷五丁目22番1
<https://www.openhp.or.jp>



緩和ケア病棟入棟までの流れ

院外から

1

かかりつけ医に緩和ケア病棟に入院の希望をお伝えください。

2

かかりつけの医療機関から当院のサポートセンターにご連絡ください。緩和ケア病棟入棟相談外来の予約をいたします。

<かかりつけ医の先生へ>

緩和ケア病棟入棟相談外来受診には、3つの書類の提出が必要となります。書類は病院のホームページからダウンロードしてください。

・入棟審査用紙(A) ・入棟相談外来予約申込票(B)

(A)…患者さんまたはご家族がご記入の上、入棟相談外来受診時にご持参ください。

(B)…かかりつけ医がご記入のうえ、診療情報提供書と一緒に、事前に当院へFAXをお願いします。



3

緩和ケア病棟入棟相談外来を受診します(受診時にかかりつけ医から渡される入棟審査用紙・診療情報提供書・画像等をお持ちください)。外来受診後、入棟判定会議にて緩和ケア病棟入棟適応の可否を決定します。

4

入棟判定会議の結果はかかりつけ医へFAXでお知らせします。

5

入院の日程について連絡をお待ちください。

院内から

1

主治医に緩和ケア病棟に入院を希望することをお伝えください。主治医が緩和ケア病棟入棟予約申込票を記入します。患者さん・ご家族は緩和ケア病棟入棟希望書の説明を聞き、署名をしていただきます。

2

入棟判定会議にて入棟適応の可否を決定します。

3

主治医と患者さんへ入棟判定会議の報告をします。

4

入棟の日程を決定し、お知らせします。

5

緩和ケア病棟
入棟

お問い合わせ先

仙台オープン病院 総合サポートセンター

TEL:022-252-1111(代表) 入棟に関わる相談:医療福祉相談室(内線:4100)

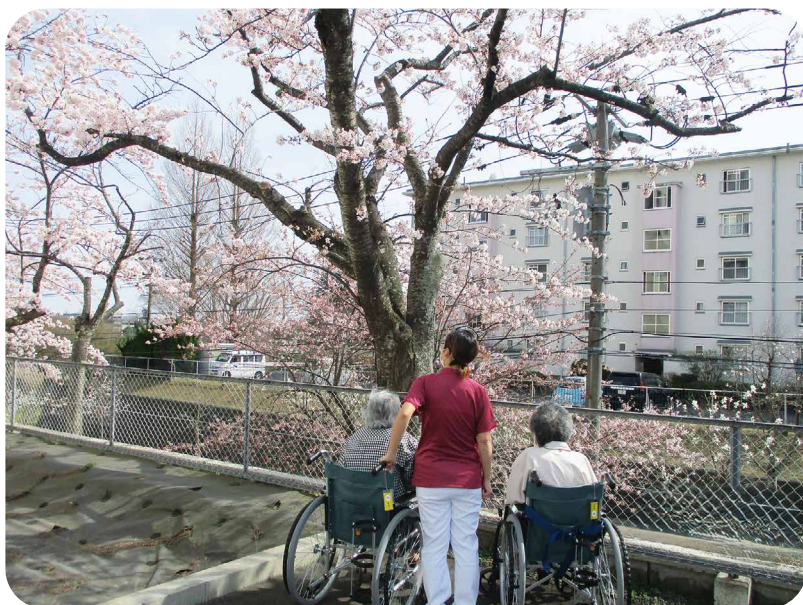
FAX:022-252-1126(直通) 入棟相談外来予約:地域医療連携室(内線:4500)

季節の行事

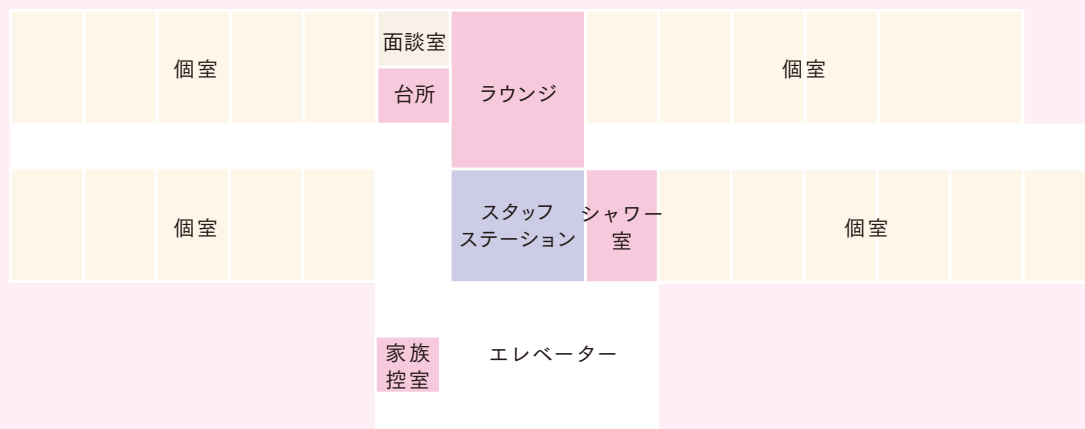
七夕やクリスマスなど、季節に合わせた行事を行っています。
患者さんやご家族とともに、季節の移ろいを感じながら過ごす時間を大切にしています。

お茶会

ラウンジでお茶やお菓子を囲みながら、患者さんやご家族とゆったりとした時間を過ごしていただくひとときです。気分転換や交流の機会として行っています。



フロアガイド(C棟6階)



緩和ケア病棟の紹介



ラウンジ

明るく日当たりのよい共有スペースです。天気の良い日には太平洋を望むことができます。患者さんやご家族がくつろいだり、気分転換をしたりできる場所として利用されています。

当病棟には特別個室、有料個室、無料個室があります。



特別個室

ゆとりのある広いお部屋でご家族との時間をお過ごしいただけます。



有料個室

窓からの眺望もよく、ゆったりとお過ごしいただけます。



無料個室

基本的な設備を備えた個室です。

共用部分には必要な設備が充実しています。



家族室

ご家族が休息や付き添いの際にご利用いただけるお部屋です。



キッチン

ご家族が簡単なお食事の準備に利用できるキッチンを備えています。



シャワーバス

横になったまま入浴することが可能です。体調に合わせて、安心して入浴していただけます。

ご挨拶

2018年3月、当院C棟6階に緩和ケア病棟が開設されました。晴れの日には、東に船やタンカーが浮かぶ仙台湾、西に仙台市街と泉ヶ岳、七ツ森が見渡せる開放感あふれる病棟です。緩和ケア病棟は、がんを治すことを目標とした治療(手術や抗がん剤治療、放射線治療など)が困難となった方や、このような積極的な治療を希望しない方で、がんに伴う身体や心のつらい症状のある患者さんに、残された大切な時間を少しでも穏やかに過ごしていただくための緩和ケアを提供する病棟です。入棟には患者さんご本人とご家族がしっかり病状を知り、理解していただくことが前提になります。

当院緩和ケア病棟はつらい症状がコントロールでき、患者さんがご自宅で過ごされることを望む場合は、地域医療連携による多職種のサポートに引きつぎ在宅診療に移行していくお手伝いをします。逆に在宅で過ごす患者さんの症状が悪化し、在宅療養が困難になった場合は、入院していただき症状の緩和を目指します。

緩和ケア病棟ではすこしでも豊かな時間が過ごせるように、お茶会やボランティアによるミニ音楽会などを催して、おしゃべりを楽しんだり、季節の彩を感じていただきながら患者さん、ご家族が笑顔になれる時間を提供できたら幸いです。

当院は日本緩和医療学会連携施設に認定されており、提供する緩和ケアは日本ホスピス緩和ケア協会が定める「緩和ケア病棟における質向上の取り組みに関する認証制度」に係る認定基準を満たしていると評価されております。

2026年3月
緩和医療科 進藤百合子

緩和ケア病棟理念

患者さんが、その人らしく過ごすために
身体や心のつらさを和らげるようチーム医療で支えます。

当院の緩和ケア病棟とは

- がんに対する積極的な治療(手術・抗がん剤治療など)を終了した患者さんを対象としています。
- 緩和ケア病棟に入院するためには入棟判定会議の承認が必要です。
- つらい身体症状の緩和や心のケアを行います。
- 症状が安定した場合は、退院を目指します。
- 在宅療養に向けての準備を行います。
- 家族の困っていることについても一緒に考えていきます。
- 医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、管理栄養士など多職種のスタッフが連携してサポートします。

